



調布稲門会
 事務所 下石原3-62-1
 堀紙管(株)内
 Tel 0424-87-1151
 Fax 0424-87-1154
 会長 笠原 昌夫
 Tel 03-3307-5023

新年にあたって



会長 笠原 昌夫
昭25・理工

会員の皆様には二〇〇三年の新年をお元氣にお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年はバブル崩壊の後遺症からデフレの圧力が強く、小泉内閣の改革路線も遅々とした動きにとどまり、北朝鮮の「拉致」という国家的犯罪に対する政治の無氣力、無批判が指摘され、イラクの問題が一觸即発の状況の中で年末を迎えた多事多難の年でした。

今年の干支は癸未(みずのとひつじ)ということで、未(羊)は中国では神聖な動物と考えられ、美・鮮・祥・洋等良い意味の文字として使われており、今年が困難な一年ではあっても、少しでも将

来に希望が持てる明るい年になってほしいと思います。

我が調布稲門会もおかげ様で漸く組織が整備されて連絡もスムーズに行われる様になりました。

同好会の活動も従来の七つに、新しく「社交ダンス」が加わって地についてますます活発化し、総会、新年会、バザー参加といった定期的行事だけでなく、スポーツや趣味を通して先輩後輩が会合し親睦を深める機会が増えて大変嬉しいことです。

会員の高齢化は相変わらず悩みの種ですが、企業での活動を終えられた方々の加入が多くなり、女性会員も少しずつ増えてきており、会員各位のご協力をいただき尚一層の増強を目指す所存です。

母校では昨年十一月で、グローバルユニバーシティを提唱して、学生のための大学の実現に向けて努力され、高度情報化、アジア太平洋指向、校友のための全学生涯学習機関化、早稲田スポーツの復活等ソフト・ハード両面に亘る改革に成果を挙げられた奥島総長が二期八年の任期を終えて退任され、白井新総長が選出されましたが、

2003年(平成15年)
主な行事予定
 ・第22回総会
 5月17日(土) 16時
 会場 たづくり12F
 ・福祉バザー
 12月7日(日) 10時
 会場 調布駅南口広場

独創的の先端研究への挑戦、地球市民の育成を旗印に奥島路線を継承して、新学生会館(二〇〇一年七月竣工)に続く百二十五周年記念事業の教育研究棟二棟の建設と大隈講堂の多機能型文化ホールへの再成に向けて新理事会の先頭に立ち進まれます。

今年には二〇〇七年の母校創立百二十五周年に向けての募金活動(目標、個人百億円・法人百億円)の四年目になり丁度折返点を迎えますが、調布稲門会の募金額は低調で三多摩地区二十三の稲門会中でも下位に低迷しております。私学の雄である母校が伝統を守り更なる発展を遂げる為にどうしても必要な募金である趣旨をご理解いただき、校友一万円/年の拠出に会員各位の更なるご協力を切にお願い致します次第です。

昨年は会の運営に力を尽された幹部四名が鬼籍に入られ哀惜の極みですが、役員、会員の皆様に特段のお力添えをお願いし、日常活動の一層の活性化を図って前進したいものです。

皆様のご活躍とご多幸を祈念して年頭のご挨拶と致します。

第二十一回総会

前島 廣司

昭33・法

昨年五月十九日(土)調布市文化会館「たづくり」にて開催。初めに、出席者一同起立し、最近亡くなられた会員(村上鉄二、塚田重雄、白土巳之吉、海老名宏の各氏)のご冥福を祈って黙祷をさされた。

総会は、笠原会長の挨拶で始まり、次いで、議事(活動報告、会計監査報告、活動計画)の提案がなされたが、すべて承認を得た。来賓各位紹介の後、寄付金贈呈式を行ない、会員からの募金金一封が大学側に手渡された。引き続き大学の水間理事よりご祝辞とともに、「早稲田の大変身」を指した近未来計画について大変喜ばしいお話をいただいた。

今回の講演は、東京国際大学の園田光司教授(当会員、昭39商)により「わが国従業員持株制度」の歴史的発展と有用性について講ぜられた。

小休憩の後、懇親会が女性司会(中野幹事)のもとで進行した。まず、調布三田会加地昌博会長よりご祝辞、府中校友会福永寿巳夫会長より乾杯のご発声を頂戴してスタート。やがて和やかな歓談の中、壇上では同好会幹事紹介と新会員紹介、更にそれぞれの入会PRが行なわれた。

後半、余興として福引会が催されたが、大いに盛り上がり、歓声が絶えなかった。
 最後に、声高らかに校歌の斉唱とエールでしめ、名残りを惜しむつ散会した。

出席者 役職及び敬称を省略
 「来賓」

- (大学) 水間英光・後藤田美子、(昭島) 内田順也、(小金井) 斎藤英一、(立川) 賀海量良、(府中) 福永寿巳夫・福井衛(国分寺) 谷田成雄・若月啓功、(狛江) 宮沢晃平・丸田明彦・関根勝彌、(稲城) 河合一郎・山田弘子・末永晶子、(多摩) 小林茂・金子宏二、(三鷹) 吉野良助、(八王子) 右田佐、(調布三田会) 加地昌博・堀健次・本田耕一・川原絹枝・伊藤達也、(中大学員会調布) 清水豊彦

〔会員〕

青木一彦、新井匡夫、新井通夫



寄付金の贈呈式

荒木淳一朗、石澤文夫、出下繁雄、大谷暁、大谷暢廣、大友美子、小笠原忠八郎、笠原昌夫、神谷昌利、香山弘之、川島義幸、木村栄三郎、河野瑠美、河野治郎、小林耕一、斎藤志郎、椎原大典、柴崎光男、関信明、園田光司、田辺明子、富永昌夫、中野完二、中野慶子、獨川寿次、根津稔、野口邦子、早川政夫、林貞夫、福富達、藤山吉和、宝珠山琢、本多和行、前島廣司、水谷努、村上誠二、元木勇、諸岡不二男、安松重矩、山崎正昭、山田悦朗、吉尾勝征、渡辺宏

【新会員】

斎藤宗之、杉田実、平岩美秀、村上勉、湧田みちる

藍綬褒章受章

林 貞夫氏

昨年四月、名誉会長の林貞夫氏(昭25法)が栄ある藍綬褒章を賜りました。あらためて心よりお祝い申し上げます。

昭和五十一年以来二十六年の永きにわたり、会社経営等の要職にありながら、保護司として地域の対象者の補導援護に尽力されて更生保護事業に貢献、労功に著しいものがあり、褒章を賜ってその善行を表彰されました。

現在も調布保護司会会長として活躍されています。

市政功労者表彰

関口憲三氏

昨年十一月、幹事の関口憲三氏(昭44商)が、子供達の健全な育成向上の為に貢献された功労者として、調布市から表彰されました。調布市青少年健全育成推進委員会の主要メンバー。十五年を超す長年多忙な時間を割いて、地域の子供達に学校では学べないような行事(餅つき、盆踊り大会等)や体験学習(昨年度は野川観覧会)、スポーツ等の機会・環境を整えてあげ、心身とも健やかに育つよう側面から支援されている。誠に立派で心から敬意を表します。

「野球部創部」百周年記念 事業を終えて

前稲門倶楽部会長 大道信敏

早稲田大学野球部創部百周年記念式典を盛大に開催する事が出来まして、早稲田大学当局の絶大な援助は勿論の事、野球部と共に稲門倶楽部一同の協力の賜ものと深く感謝し、共にお祝いの喜びを味わう事の出来た事を重ねてお礼申し上げます。早稲田大学野球部には偉大なる伝統と栄光の歴史があります。百年の歴史には数々の遺産が残されており、その尊い貴重な蓄積の結晶と思えます。今後新しい二十世紀の野球部の発展

の出発点として邁進したいと思えます。併せて、早稲田大学大隈老侯の早稲田スポーツに対し理解あつての野球部創立の原点に戻り、安部先生の野球の三徳(智、仁、勇)とスポーツマンは常に心は清く、一点の「シミ」をつくるべからず。常に白球の如く、飛田先生の「一球入魂」、奥島総長の目標は高く、頭は低く、執念、健康等の、教訓を踏まえ、永久に伝統を継承する責任を果すべき事を誓いました。

又百周年の記念に、六大学リーグに先立って、一、〇〇〇勝記録を達成する偉業を成し遂げた事に感謝し、また稲門倶楽部員の慰霊祭が厳かに開催され、多数の遺族の皆様のご列席を賜り、又、安部幾雄(孫)氏の感謝の言葉も戴き、終える事が出来ました。式典では、総長から野球部に三つの有り難うの祝辞があり、又、慶應義塾からは「にくき」ワセダの競争相手へのユーモア入りの祝辞も頂戴してなごやかに、最後に応援部の整然たる音楽で一丸となつて「都の西北早稲田の森に」を合唱し、感激し、時間の経つのを忘れ幕を閉じ、大任を終え終止符を打つ事が出来ました。有り難う。

福祉バザーに参加して

辰 巳 正義

昭36・理工

昨年十二月八日(日)調布駅南

口広場での調布福祉まつりバザーに調布稲門会も例年通り積極的に参加致しました。

この冬一番の厳しい寒さにも拘らず大勢の来場者で大変な盛況、多数の出品(約千点)を短時間でほぼ完了し、調布市の福祉の一翼になう事が出来ました。多数出品にご協力くださいました方々には、感謝と心よりのお礼を申し上げます。

特に感じましたのは稲門会のバザーは品物のよさに定評があり、開店準備中にも拘わらず、どーっとお客様が押し寄せ、瞬間に売り場が一杯になってしまいました。私も初体験ゆえ、その勢いに圧倒され、この福祉バザーが如何に市民の関心が高いか感じました。

笠原会長のもとボランティア精神で、幹事及び有志二十名全員が早稲田精神を発揮し、チームワークの良さで販売に励んだ事が大変印象に残りました。特に豊かな商品知識で常に笑顔をやさず、接客をされていた前島、河野両先輩の卓越した販売の腕前には敬服致しました。

私自身このバザーを通じて、福祉にほんの少しでも貢献が出来たことを感謝しております。売上金は、市民の福祉向上のために、調布市福祉協議会に十三万円強を寄付させて頂きました。

最後に、引き続き今年度のバザーにも尚一層の温かいご支援ご協力

を何卒お願い申し上げます。



社交ダンス部が誕生

根津 稔

昭37・法

昨年八月二十五日(日)調布市文化会館たづくりにおいて、新同好会の社交ダンス部が初心者講習会として会員二十三名をもって華やかにスタートしました。

指導は当会副会長の元木勇氏にお願いしました。元木氏は、プロダンス教師協会会員で調布市社交ダンス、スポーツダンス両連盟の顧問でもあり、長年の経験、実績もありで、指導力、技術面においても卓越したものを持つ素晴らしい先生です。当ダンス部の幹事も兼ねてもらっています。

社交ダンスは、スポーツに芸術的要素を加味し、①年齢に関係なく楽しめる趣味として②美容と健



です。

十一月頃にはダンスパーティを予定。更に、時期をみてダンス旅行も実施したいと考えています。当部入会金は参千円で、会費は一回につき千円です。

詳細につきましては下記宛にお問い合わせ下さい。
電話・FAX
〇四二四一八四一八六四七

携帯
〇九〇一六一七〇一一九四七
根津 稔まで

ホームカミングデー

萩谷 京平

昭43・政経

ブルース、ワルツ、ルンバ、タンゴ、ジルバ：色々な名曲に合わせて、男性と女性が息をピッタリ合わせて踊る楽しさは、一度体験してみないとわかりません。是非ともご参加ください。

例会は、土、日曜の午後を中心に、平日の夜間を加えて、月に二〜三回行っていますが、将来は月四回のペースで開催したいと思えます。最初の一年間は社交ダンスにまったく経験のない初心者を対象とした講習を行いますので、何もわからない方も、こぞってご参加のほどをお待ちしています。また途中で入会された方や一時休まれていた方にも、安心してついていかれるように工夫された講習となっています。一般の方も歓迎

ルの登場には今昔の感を新たにしました次第です。

午前中の記念式典終了後は、それぞれ学部毎の集会、大隈講堂でのトークショーへと分散していきましたが、当日はあいにくの小雨模様で大隈庭園での集会がいま一つ盛り上がりなかったのは大変残念なことでした。

午後メイン・イベントは特等賞品・自動車の抽選会でしたが、私の周辺には高位当選者が見当たらず拍子抜けでした。大隈講堂での抽選会後に奥島総長自ら「人生劇場」を歌ったのが大変に印象的で八年の大役を終えるに相応しい姿であり、かつ早稲田の庶民性を物語るものでした。

早稲田のキャンパス周辺で気が付いたことは在学当時は主として学部・サークル活動に関わる施設が中心であったと思うのですが、大学の事業拡大のためか、キャンパス周辺に「・・・研究所」「・・・センター」といった施設が目立ってきています。「確かここは食堂か麻雀荘だったのでは・・・」と思われる場所に大学関係の事務所の看板が掲げられて驚いたのも一つや二つではなかったと思います。これは大学の活動範囲が広くなり単に学問の追究のみでなく、あらゆる階層への柔軟な対応を求められる社会的存在になってきたためでしょう。これは必ずしも良い面ばかりではありません。サークル

行事で休日に学内の教室等を利用するには、かなり高額の費用がかかるかと仄聞します。今日の社会情勢では無理からぬことではしょうが、何とかならないかと感じました。「開かれた大学」が早稲田の良さと考えていた世代から見ると、今一度、教育機関の原点である学生のための大学であってほしいと思います。



学内の懸案であった早稲田祭も久しぶりで行われ、スポーツでも早稲田復権の兆しが著しく活気が戻りつつあります。百二十五周年を目前し、さらなる母校の発展を期待してホームカミングデーを後にしました。

「新撰組局長、近藤勇の史跡をたずねて」

舞木 孝治
昭38・商

平成16年のNHK大河ドラマが、「新撰組」に決まり、タイミンング的には格好のワンゲル企画となり、参加メンバーも笠原会長以下総勢二十七名になりました。

「新撰組」については、映画や文庫本などで、又比較的最近では浅田次郎の「壬生義士伝」などで多少の知識もありましたので、大変興味をもって参加いたしました。

晩秋の十一月二十三日、いつ降り出してもおかしくない曇天の下、先ずは近藤勇のふるさと調布上石原(西調布)の西光寺に集合、今もそれなりに古い面影を残す旧甲州街道沿いというシチュエーションに早や心は幕末に。

境内に建立された腕組みをした近藤勇の座像に対面、かなり大きな像で、切れ長の目にこけた頬、そしてきつく結んだ口元。さぞやこのツラがまえに、薩長の志士たちは震えあがったことでしょう。

ご案内の土方貢先輩(調布稲門会顧問、近藤勇と新撰組の会々長)より、詳しい解説がありまして目と耳からの多重学習。

次に近藤勇の生家跡、産湯の井戸、天然理心流の道場、そして墓所(龍源寺)などが集まっている都立野川公園方面へと「誠」の旗ならぬ「W」の旗を前後に掲げ、約四十分程の北上ウォーキング。肌には北風が冷く、時折、ポツリポツリとばらつく雨の中、なぜか近藤



での懇親会で一同無事打上げをいたしました。
 思うに、昨今のやるせない世相などから、時代おくれであってもあの動乱の幕末を疾風のように駆け抜けた一途な若者の剣客集団「新撰組」、そしてその頂点に立つ近藤勇に泥くさいカッコよさと同時に、一抹の哀惜の念を抱くのは私だけの感傷でしょうか。

同好会

太極拳

中野 完二

昭和35・文

太極拳同好会は今年二〇〇三年で満一九年になります。
 毎週日曜日(五週目の日曜日は原則として休みにしています)午前十時〜十一時半に、調布市総合体育館小体育館を会場に、磯田要幹事長のお世話と、私の指導で、四〇名ほどの仲間で「健康・友好・平和」を目ざして、和気あいあいと、楽しく稽古しています。

調布稲門会会員とそこご家族だけでなく、近隣の地域住民の方々が多数参加してくださっています。
 入会はいつでもOKです。入会ご希望の方は一度見学にいらして、いっしょに体を動かしてみてください。昨年、四月二十八日に第五回

太極拳祭、七月二十八日に第二回日本健康太極拳協会東京都支部大会、八月三十一日、九月一日に、第二十回中野教室合宿があり、同好会あるいは有志として参加。東京都支部西地域太極拳の集いや研修会にも参加いたしました。
 今年も諸行事が予定されており、十月二十六日(日)には、調布太極拳同好会が中心になって東京都支部西地域太極拳の集いを開催することになっています。
 新年会、暑気払い、稽古後の懇親会も予定しています。



7月28日、第2回東京都支部大会で

囲碁・将棋

早川 政夫

昭和30・商

◆将棋新春大会 (二月二十四日開催)
 優勝者 芳賀(治)三段
 ◆囲碁夏期大会 (七月二十八日開催)
 各組優勝者
 A組 床波七段
 B組 川住五段
 C組 早川初段
 ◆将棋夏期大会 (八月二十五日開催)
 優勝者 中野(完)四段
 第二回オール早稲田囲碁祭(首都圏)

九月二十九日開催、於日本棋院市谷本院
 昨年に引き続き連覇を目指して調布チームも参加しましたが、惜しくもBクラス総合三位に終わりました。又来年捲土重来を期します。
 ○出場選手と編成
 主将沢井四段、副将塩沢二段、三将大谷(暢)二段、四将床波二段、五将濁川一級、補早川
 ○対戦チームと成績
 一回戦対埼玉北四勝一敗、二回戦対横浜B二勝三敗、三回戦対逗葉四勝一敗、四回戦対鎌倉三勝二敗

平成十四年実施の恒例大会結果
 ◆囲碁正月大会 (一月二十七日開催)
 各組優勝者

桜田倶楽部
 東京テニスカレッジ
 会長 秋山 一 (昭22・政経卒)
 〒182-0017 調布市深大寺元町二丁目三三二
 電話 (0424) 821-2209

堀紙管株式会社
 〒182-0004 東京都調布市下石原三丁目二一
 電話 (0424) 871-2524
 FAX (0424) 871-2549

林建設株式会社
 取締役社長 林 和男
 取締役副社長 林 清一
 〒182-8512 東京都調布市小島町二丁目五六一
 電話 (0424) 861-1111
 FAX (0424) 861-2200

不動産賃貸
中村不動産管理株式会社
 代表取締役 中村 俊一
 〒182-0035 東京都調布市上石原二丁目一〇一
 電話 (0424) 821-2033

ギフト
京王百貨店調布外商営業所
 〒182-0024 東京都調布市布田一丁目四五
 電話 (0424) 815-7614
 FAX (0424) 871-9011

石井自動車株式会社
 〒182-0006 東京都調布市西つげヶ丘2丁目15
 電話 03 (3300) 8322-1
 FAX 03 (3300) 8322-3

深大寺そば 創業文久年間
 御宴会・俳句会・御法事
元祖嶋田家
 〒182-0017 東京都調布市深大寺元町五丁目二十
 電話 (0424) 821-3578
 831-6655



第2回 オール早稲田囲碁祭

あります。気が付くと、結構運動不足の解消にも役立つようで、快汗を流した後のビールはたまりません。

例会は深大寺の市営コートを利用していますので、会費は200円/月、駐車場も完備しています。どうぞ気楽にご参加ください。

なお寒いと捻挫等の怪我が心配なので、冬季は避けるようにしております。

ゴルフ

香山 弘之
昭35・政経

名三段の訃報に接して悲しみもまだ消えない八月には、当会会長武田七段が逝去されました。厳しい風貌を覗かせて我々に指導基を打って下さった面影は忘れる事が出来ません。お二方のご冥福をつつしんでお祈り致します。

最後となりましたが、当同好会は毎月第四日曜日の午前九時から午後五時まで、菊野台福祉センターで例会を行っております。入会ご希望の方は気軽にお越し下さい。

硬式テニス

岩崎 英夫
昭34・理工

我々のテニスは4ゲーム程度の草ルールですが、それでもプレーヤーは久しぶりの勝敗に、つい息を切らしながら熱戦となること

十打差で圧勝しました。尚個人優勝も安松氏が七五のベスグロで獲得されました。続いて稲門単独のコンペは十月二二日第三回総長杯ゴルフコンペに五名で参加、全体では二百余名の参加者でしたが新井通夫氏が見事当日賞をゲットしました。尚優勝は硬式野球部OBの八木沢氏が七十のベスグロで総長杯を獲得されました。

さて今年も単独のコンペとしては他のコンペの相乗りは止め、近場で開催し参加し易いようにしたいと思っています。腕前の方はいろいろな方々が参加されておられますので、どなたでも気軽に参加して頂きたいと念じております。



麻雀

早川 政夫
昭30・商

十一月九日(上)第五十六回大会が開催され、はからずも小生が優勝したので、恒例により会報に報告することになりました。

当日雀荘「憩」に参集した歴戦の雀士十六名によって熱戦の火蓋が切られました。半荘毎にメンバーを組み替えて四回対局して成績を決めます。(以下敬称省略)

第三局を終了した時点で、上位は一位河野四点、二位渡辺・早川各五点、三位大谷(暢)・前島各六点(点数少ない方が上位)。

いよいよ最終局は河野、渡辺、早川、大谷(暢)の組合せで対局しました。中盤以降大谷(暢)がリードを始めて河野、渡辺両名は若干後退しました。小生は殆ど動きが無く終局。その結果、順位は①大谷(暢)②早川③渡辺④河野となりました。

総合成績は一位早川七/七〇、二位大谷(暢)七/六八、三位前島七/十二(数字は順位点/ゲーム得点)となり、辛じて小生が逃げ切って優勝と決まりました。

……でありますので、今回の勝負は月並な云い方ですが、良きメンバーとツキに恵まれた以外の何物でもないと思っています。

麻雀は社会的環境の変化に伴い、往時に比べて一時すたれましたが、最近では年寄りから若者まで楽しめるゲームとして見直されてきており、明るいイメージを与えるものとして「健康マージャン」も普及してきました。

室中公認会計士事務所
公認会計士 室 中道 雄
〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-11
ブロードリー西新橋8F
電話 〇三(三)五一九六二〇六
FAX 〇三(三)五一九六二〇七

カメラと撮影・カラープリント
ホンダ写真店
本多和行
〒182-0022 東京都調布市布田1-14-1
電話 〇四(二)四 82-13278

土地・建物の賃貸管理
東京建興株式会社
代表取締役 土方 貢
〒182-0022 東京都調布市国領町7-1-13
電話 〇四(二)四 83-13515

新しい食文化をつくる
お米館
YAMADAYA
Hanahan
専務取締役 秋 沢 淳 雄
I S O 9001 取得
山田屋本店
東京都調布市布田3-1-1
TEL.0424-82-4585(代)

東京都北区堀船1丁目16番9号
製鋼原料中間処理工場
旭光商事株式会社
代表取締役社長 富永昌夫 昭30一法平
電話 〇三(三)九二七二二八
FAX 〇三(三)九二七二二八
〒114-0004

調布稲門会
会長 笠原 昌夫 昭25理工卒
副会長 元木 勇 昭37政経卒
同 河野 瑠美 昭36教育卒
幹事長 堀 龍之介 昭38理工卒

香港、台湾、東南アジア等では依然高い人気がありますが、ヨーロッパでも麻雀の面白さが認識され浸透しています。

「MAHJONG」が国際語として通用する今、世界的な大麻雀時代がやって来るかも知れません。同好諸兄弟のご参加をお待ちしております。

カラオケ

小笠原 忠八郎
昭40・商

平成十四年度カラオケ同好会の活動につきまして一筆書かせていただきます。

昨年度は大変ショックな悲しい年でありました。小生調布稲門会入会以来、個人的なお付き合いもしていただいた津田弘毅、山田悦朗両氏が亡くなられた事です。

カラオケ同好会の先輩で、小生を同好会の世話役に推選していただいた方が津田先輩です。五、六名の同好会の時もかならず出席していただきました。調布市の外国人世話会で出羽海部屋へ30名で見学し、ちゃんこ鍋を食べた事や奥様の肖像画を描かせていただいたのも思い出です。

又山田悦朗先輩についても同じくカラオケにかならず出席していただきました。同年に幹事になりました。亡くなる前日に電車で会い、「元気のいい顔を見て」「どうされましたか」と聞くと、中国旅行で疲れたと言われたその夜に亡くなると思いませんでした。両先

輩のご冥福をお祈りいたします。

カラオケ同好会のスケジュールとしましては、新年会総会幹事会などの後や、バザーご苦労さん会等、年五〜六回実施したいと思えます。又改めてカラオケの歌いやすい場所があれば教えて下さい。

ワンゲル

川島 義幸
昭34・商

第六回ワンゲル同好会は、ふるさと調布散歩の一環として新撰組局長近藤勇のゆかりの地をたずねました。詳細はメンバーの舞木氏が寄稿されております。

集合地の西光寺(近藤勇座像)には、地元上石原から大先輩の中村正一氏(昭14年、新撰組の副会長)、中村弘氏(同会計)のご両人が激励のため駆けつけて下さいました。

終点のそば処「元祖嶋田屋」では、当主の嶋田太郎氏(深大寺そば組合長、調布稲門会幹事)が腕を振るって打ったそばを味わい、和気藹々のうちに定刻四時に散会しました。

次回は、三月に、東京下町散歩を予定しています。平成十五年は、江戸幕府開府四百年という記念すべき年ですので、江東区深川の芭蕉庵、清澄庭園、門前仲町界隈を散策します。多数のご参加をお待ちしております。

同好会世話人のご案内

囲碁将棋	早川政夫	0424-87-9610
カラオケ	小笠原忠八郎	0424-81-6867
ゴルフ	香山弘之	0424-82-6994
太極拳	中野完二	0424-85-0523
	磯田要	0424-86-0044
硬式テニス	岩崎英夫	0424-83-2735
麻雀	関口三三	0424-86-7045
	濁川寿次	0424-83-6966
ワンゲル	川島義幸	0424-85-4178
	白川準一	0424-83-5012
	諸岡不二男	0424-85-0995

調布の話題

前島 廣司
昭33・法

―五宿の繁栄―
前年に引き続き「布田五宿」について、郷土歴史書や歴史図鑑などから大変興味深い史実をもう一つ知りました。

▼前年号でご案内のように、宿場開設以来、布田五宿は一年中寂しく、貧乏暮らしであった。ところが、それまで営業許可にならなかつた茶屋旅籠が国領宿から上石原宿に至る街道筋(多くは今の飲み屋街が集まっている辺りか)にできてからは、宿場の様相が一変して大層繁盛し、困窮していた村の財政も解消されたという。

その頃、茶屋旅籠は貸座敷と呼ばれた。遊廓、女郎屋のこと。
▼時は幕末、慶応元年(一八六

年会費のご案内

年会費(3,000円)未納の方は下記銀行振込又は便宜の方法でお支払をお願いいたします。
なお、総会出席者は納付済です。
・みずほ銀行調布支店 普通預金口座 997965
・みずほ銀行調布南口支店 普通預金口座 1158237
・UFJ銀行調布支店 普通預金口座 3571512

話題のあるところには必ず人が集まる。やがて新しい商店や飲食店などが軒を連ねはじめ、また公共の施設も加わって「街」の姿が形成されるようになった。

明治二十二年(一八八九)にはすでに、布田五宿が二か村を併合して「調布町」、深大寺や柴崎など八か村は「神代村」となり、新町村体制が成立している。

当初の営業許可は貸座敷三十軒と娼妓百人であったが、実際にはそれ程の設置能力はなくて、明治の前半は二十軒位だったようだ。

明治末期になると、七軒ほどに減ったが、かえって反比例的に賑わいは増した(その数字的根拠は省略する)。また色遊びに因んだ「五宿甚句」まで生まれて、巷間で大流行したらしい。

ちなみに、大正二年(一九一三)京王線が開通した。
▼二五〇年余り続いた五宿の寂しさと貧乏は「五宿女郎」が一気に吹き飛ばし、街をもつくつてくれたと云えよう。

(文献、調布市図書館蔵「調布市の歴史」(調布市史))

計報

- 白土巴之吉氏(昭24・理工)
 - 海老名宏氏(昭30・法)
 - 津田弘毅氏(昭35・法)
 - 山田悦朗氏(昭33・政経)
 - 武田良一氏(昭28・教育)
- ご冥福をお祈り申し上げます